

お 知 ら せ

北海道医療大学看護福祉学部学会 第10回学術大会のご案内

－メインテーマ－

認知症ケアと多職種連携

本学会では、北海道医療大学看護福祉学部と同窓生や在学生、教員等の学術的研鑽および交流を図ることを目的として、毎年の事業計画の一環として学術大会を開催しております。

さて、本学会の母体でもある看護福祉学部は、「保健・医療・福祉の連携と統合」を理念として創設されました。近年、この連携と統合は、「チーム医療」や「多職種連携」という新たな用語のもとで、より実践的・政策的課題として議論されつつあります。また、超高齢社会に突入した現在、看護学と社会福祉学の連携・統合による看護福祉学が取り組むべき喫緊の課題は、「加齢」「障がい」「地域」といっても過言ではありません。

そこで、第10回学術大会では、メインテーマを「認知症ケアと多職種連携」と題し、第Ⅰ部に認知症ケアの第一人者である加藤伸司先生を招聘し、この分野の最新の知見についてご講演を頂戴いたします。また、第Ⅱ部では、現場の第一線で活躍されている看護福祉学部の同窓生や、本学の5つ目の学部として新たに創設されたリハビリテーション科学部の先生をお招きし、当該テーマに係る実践的なシンポジウムをとおして、認知症ケアと多職種連携の今後の課題と展望について具体的に学ぶ機会とさせていただきます。

第10回学術大会長 志 水 幸（北海道医療大学）

1. 日 時 2013年9月7日（土） 午前10：00～
2. 会 場 北海道医療大学札幌サテライトキャンパス・ACU
札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12階・16階
3. プログラム
 - 講 演 （北海道医療大学看護福祉学部同窓会セミナー共催）
「認知症ケアと多職種連携」
加藤 伸司氏（東北福祉大学 教授、認知症介護研究・研修仙台センター長）
 - 総 会
 - シンポジウム 「認知症ケアと多職種連携の現状と課題」
 - ・鈴木 真理子氏（医療法人溪仁会 札幌西円山病院 老人看護専門看護師）
 - ・後藤 英彰氏（社会福祉法人栄和会 介護老人保健施設あつべつ 総務係長）
 - ・鎌田 樹寛氏（北海道医療大学リハビリテーション科学部 教授）
 - ・コメンテーター： 加藤 伸司氏
 - ・コーディネイター： 山田 律子氏（北海道医療大学看護福祉学部 教授）
 - 研究発表
 - 交流集会
 - 懇 親 会
4. 参加費 講演会のみは無料、学術大会：2,000円、懇親会：3,500円程度予定
5. 問合せ先
北海道医療大学看護福祉学部学会 第10回学術大会実行委員会
学会ホームページ <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~nsgakkai/>
Mail: gakkai10kai@hoku-iryu-u.ac.jp FAX：0133-23-1426（学会事務局）